

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

1目 農業総務費

食のみやこ推進室(内線:7835) → 食のみやこ推進課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
食のみやこ鳥取県推進事業(魅力ある食づくり事業)	8,456	8,578	△122				8,456	
トータルコスト	23,785千円 (前年度 32,605千円) [正職員:1.9人]							
主な業務内容	補助金交付事務、企画運営、普及啓発							
工程表の政策目標(指標)	名物料理の開発、郷土料理の普及							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県産食材を用いて戦略的に名物料理の開発とPRによる地域振興を進めるとともに、県産食材を使った郷土料理の普及を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

事業項目	事業内容	事業費	予算額	事業主体	補助率
(新)とつとりの新名物料理開発事業	○「開発型」新・ご当地グルメプロジェクト 名物料理開発プロデュースによる意欲のある市町村を対象としたご当地グルメの開発、PRの支援	4,313	3,146	地域の任意組織	県 2/3 市村 1/3
とつとりオリジナルメニューづくり支援事業	○県産食材を使った料理メニュー開発、PR等の支援(4団体)	2,800	1,800	ホテル、飲食店サポーター等	県 1/2 実施主体 1/2
県産食材を使った料理教室等への支援	○「旬」の料理教室「食の匠」派遣事業 自治会等の料理教室への講師派遣	3,510	3,510	県	—
	○美味しい郷土料理普及推進事業 (社)鳥取県栄養士会による料理講習会、料理開発の支援			(社)県栄養士会	定 額
	○調理の技普及推進事業 鳥取県調理技能士会、(社)鳥取県調理師連合会による自治会等での料理講習、発表会の支援			県日本調理技能士会、(社)県調理師連合会	
合 計		10,623	8,456		

3 これまでの取組状況、改善点

- 新名物料理コンテストでは、22品の応募があり、参加者・受賞者からは料理開発のモチベーションが上がった、PR効果が高いとの評価を受けている。栄養士・調理技能士・調理師・生産者による自治会、学校等での料理講習への支援(延べ40回実施)では、受講者からは、県産食材の美味しさを実感した、昔からの調理法や知恵、アイデアを学び、家庭等で広めたいと好評を得た。また緊急雇用基金を活用した「食のみやこ鳥取ガイド(鳥取食探検)(延べ8冊予定)」を発行し、「鳥取の食」を多いに広めた。
- 22年度は、専門家の指導による、市町村単位でのご当地グルメづくりの支援制度を創設する。